

の制度を抜本的に変革する」と繰り返してきます。定期昇給を廃止して「能力昇給」へ、退職金制度も抜本的に変更し、「二人ひとりが経営の主役」と称して、労働者をどこまでも競争に駆り立て、蹴落としあわせていこうとしています。

その下で、本来の鉄道業務はないがしろにされ、安全は切り捨てられ、多くのローカル線の廃線化が狙われています。「価値創造だ」「利益をあげろ」と叫ぶこのJR東日本の新経営計画のもと、グループ会社をめぐる嵐のような会社再編、矛盾のしわ寄せが強まっていくことは不可避です。

.....

闘わなければ生きていくことも、将来展望を切り開くこともできない時代です。過半数代表にとどまらず、職場の過半数を超える労働組合が絶対に必要な時が来ています。

あらためて、動労千葉候補に投票してくれたすべての仲間、CTSで働くすべての仲間に、今こそ動労千葉への加入を心より呼びかけよう！

第36回動労千葉OB会総会開催



5月31日、第36回動労千葉OB会総会がDC会館において開催された。雨模様の日だったが、支部、家族会も含め40名を越える集まりとなった。最近OBになった方の参加も定着しつつあり、一世代若返ったOB会となった。

挨拶に立った永田会長は「今日は若手のOBが多く集まってくれた。今日一日、楽しく過ごしつつ、動労千葉を支えていくために今後とも協力をお願いしたい」と訴えた。

関委員長が挨拶にたち、この間の情勢とJRの攻撃について訴えた。とりわけJR東の打ち出した大再編攻撃について展開し、国鉄時代のあり方を抜本的に変革しようとしていること一戦後の労使関係、労働条件をすべて解体しようとしていることを明らかにし、動労千葉は検修職場の外注化阻止闘争を軸に闘うことを訴えた。

国鉄闘争勝利

労働運動再生に

向け再出発



国鉄闘争全国運動は6月15日、千葉市民会館で全国集会を520人の結集で開催した。集会は佐野書記次長と自治体労働者の仲間の司会で進められた。開会のあいさつを呼びかけ人の金元重さんが行い、三里塚空港反対同盟の市東孝雄さん、改憲・戦争阻止！大行進の高山俊吉弁護士が連帯のあいさつに立った。

鉄道労組ワル地本の4人が登壇

関委員長の基調報告に続いて、韓国鉄道労組ソウル地本の4人が登壇し、カン・ジョンナム本部長が、「闘う労働者は一つです。労働者の連帯に国境はありません。労働者の国境を超える団結で、よりよい世の中を作ることができます」と発言した。

JR東日本との新たな闘いとして渡辺書記長、動労総連合水戸・沼沼委員長が闘いの決意を述べた。1047名解雇撤回の訴えを中村副委員長と藤田

弁護士が行い、今後の闘いの報告と決意が述べられた。廃線化との闘いの報告を久留里線と地域を守る会が行った。動労東京環境アクセス、東京の自治体労働者、全学連の仲間が闘いの報告と決意を訴えた。集会のまとめを呼びかけ人の浅川雅己さん（札幌学院大学教授）が行い、最後に発言者が全員登壇して団結ガンバローで集会は締め括られた。

関委員長 基調報告 要旨

国鉄1047名解雇撤回闘争は「勝利まで後一步」の最後の壁を打ち破り勝利できるかの正念場。国鉄分割・民営化が国家的不当労働行為だと暴きだした。絶対に勝利の扉をこじ開ける。本日の集会は何よりも第1に、その固い決意の下に開催されている。

階級的労働運動再建

新たな出発点に

第2に、労働運動の革新に向けた新たな出発としてかちとりたい。戦争が世界のみ込み、政治、経済、社会、労働運動の在り方を含めすべてを一変

国鉄闘争全国運動615

全国集会520人で成功！

させようとしている。連合の変質が一線をこえて進んでいる。「労働組合」の名をもって有事体制の下に労働者を組み込む役割を果たしている。戦争を止め、資本主義の危機を打開できる唯一の存在として労働者階級の団結した姿を登場させられるかが問われている。われわれの力で階級的労働運動を再建する新たな出発点にしたい。

動労千葉単独で11月集会を呼び

かける方針を決定

第3に11月集会の呼びかけ3労組、労組交流センター内で、深刻な女性差別事件がおきた。3労組が一致して闘いの旗を振れなくなっている。心からお詫びしなければならぬ。われわれの運動がそうした問題を自らの課題としていたのか、労働者の解放をめざした運動の中からもなぜこうした事件を起こしてしまったのか。問い返し、乗り越えなければならぬ多くの問題がある。しかし、後退することはできない。闘いを前進・発展させるため、告発に立ち上がった当該の女性たち、それを支えて闘いを開始している全国の仲間たちとともに闘うことを、本日の

集会の共同の決意としたい。

第4に、動労千葉は単独でも本年の11月集会を呼びかける方針を決定した。「身の丈をこえた挑戦」だが、動労千葉自身も現状に甘んじられる情勢ではない。こうしたことを通して動労千葉自身も生きていくことができる。

動労千葉は決して活動家ばかりの集団ではない。しかし、動労本部からの分離・独立、国鉄分割・民営化という国家をあげた攻撃に立ち向かって団結を守りぬき、JR体制下でも多くの解雇者をだしながら外注化阻止闘争や1047名解雇撤回闘争を闘いぬいてきた。この確信は揺らいでいない。動労千葉の果たすべき役割は今もある。

11月集会が切り開いてきた最大の地平は、日本労働運動の変革、階級的労働運動の建設という大テーマを真っ向から掲げて、四半世紀を超える組織化を継続してきたことだ。その闘いの中で韓国・民主労総との20年を超える連帯をはじめ画期的な国際連帯をつくりあげてきた。

4つのスローガン

11月集会の原点である94年9・18

労働者集会の原点に返り、全く新たな情勢の中で「4つのスローガン」を訴えたい。

- ①「中国侵略戦争阻止―差別・排外主義と対決する労働運動をつくりだそう!」
- ②「戦時下における労働政策の歴史的転換に抗する労働運動をつくりだそう!」
- ③「国鉄分割・民営化反対闘争がきりひらいた地平を水路に、連合路線と対決する労働運動をつくりだそう!」
- ④「反動石破政権打倒、闘う労働者の新しい党をつくりだそう!」

これからの労働運動は、基本路線にこうした課題をすえた上で個別の具体的闘いを展開するという関係にする必要がある。労働運動全体の利益を徹底し、掲げることで勝利の展望がでる。個別には負けても、勝っている。そういう中で結集する組合員の気迫が生まれてくる。

簡単な闘いではない。しかし、ここで勝負しよう。戦争を阻止しよう。階級的労働運動を復権させよう。11月労働者集会の大結集に向けてぜひ力をかして下さい。共に闘いましょう。

久留里線と地域を守る会 第3回定期総会を開催



「全国の 廃線反対の闘いと連帯
し、地域の足を守るために輪を広
げよう」総会アピール

久留里線と地域を守る会は、5月31日、君津市・亀山コミュニティセンターにおいて、「第3回久留里線と地域を守る会定期総会」を開催し、会員や沿線住民など60人が集まる中で、JRによる久留里線・久留里く上総亀山間の廃線「バスへのモードチェンジ」に反対し、沿線住民や内房線と地域を守る

る会、外房線と地域を守る会などとの連携を強化し、沿線自治体や千葉県、国土交通省への要請行動などを積極的に取り組むなどの活動方針を決定した。

地域の活性化には久留里線の

存続が絶対に必要だ！

総会は、最初に三浦久吉代表があいさつを行い、「JRが、久留里線は鉄道の特性である大量輸送を生かし切れていないとして久留里く上総亀山間の廃線を発表した。これに対して君津市は『JRの方針を受け入れる』旨を表明した。今、JRと君津市はバスの路線などについて検討しているとされている。断じて許すことはできない。久留里線と地域を守る会は、結成の原点に立ち返って、地域の活性化のためには久留里線が絶対に必要であるとの立場で今後も運動を進めることを確認した。地元の人達とともに、久留里線の廃線阻止に向けて今後も頑張っていきたい」と決意を明らかにした。

次に、ローカル線とJRの経営問題を研究している日本大学の桜井徹名誉教授、米坂線の早期復旧と地域の活性化を考える会からのメッセージが紹介

された。

つづいて来賓あいさつが行われ、君津市議会議員からのあいさつを受け、次に内房線と地域を守る会の梅澤和子代表、外房線と地域を守る会の早川隆雄会長から、久留里線と地域を守る会とともに久留里線の廃線に反対してともに闘うとのあいさつが行われた。

学習会の開催や、もとと積極的

前向きな運動が必要！

その後、議事に入り、質疑では、もつとローカル線の現状などを地域に知ってもらうために学者などを呼んで学習会・講演会などを行ってはどうかとの意見が出されたり、海外から移住してきた女性から「駅前に『久留里線を守りましょう』と記載したデコレーションを出している」ことが紹介された。

また、君津市長が廃線を受け入れるとしているのであれば、もつと積極的な運動を行ってもらいたい。署名や市長への面会行動が必要ではないか。迫力を示さないといけない。前向きに、積極的な活動をお願いしたい、との提案が出された。

亀山地区は半数が存続希望

ハイキングコースも整備した

亀山地区の元自治会長からは、検討会議で久留里線の存続を訴えてきた。23年6月に地元でアンケートをとり49・3%が久留里線の存続を希望した。

昨年秋の紅葉シーズンには亀山まで来た列車が満杯だった。この間、亀山地域でハイキングコースを整備し、パンフレットも作った。今後、亀山から松丘、久留里でもハイキングコースを作り、多くの人に活用してもらおうように頑張りたい。そのためにも久留里線は必要だ。廃線にしてはならない、と訴えた。

さらに、今年、亀山神社が県文化財に指定された。今秋には企画展が予定されている。上総地域には、活性化の役に立つ文化財が沢山ある。久留里線を廃線にしたら亀山地域はどうなるのか。存続させたい。

質疑に対して三浦代表から、「今、久留里線にとって重要な時期を迎えている。JRと君津市はバス体系の検討を行っている。われわれは、これに打ちかつ運動を行っていきたい。地域とともに頑張りたい」と訴えた。そして最後に、「拍手により一括採択が行われ、第3回久留里線と地域を守る会定期総会は成功裡に終了した。」

武器見本市に怒りのデモ



5月21日、幕張メッセを会場にした武器見本市「DSEI JAPAN 2025」(防衛・セキュリティ総合展示会)に反対し、改憲・戦争阻止！

大行進千葉がよびかけたデモと抗議行動が展開された。この武器見本市は3日間にわたって開催され、文字通り世界の軍事企業「死の商人」たちが最新鋭の武器や兵器を展示し、その軍事技術を「実戦で実証済み」と売り込むとんでもない代物だ。

ガザ大虐殺を行っているイスラエルの軍事企業も20社以上が参加し、実際にガザで使われた自爆型ドローンなどが展示された。日本も防衛省・自衛隊、防衛装備庁、経産省、外務省、警察庁



リレーアピール。大行進千葉の基調報告に続いて、動労千葉から中村副委員長、三里塚反対同盟の伊藤さんなどが次々とマイクを握り駅頭の人々にアピールした。

幕張メッセを包囲する130名のデモには飛び入り参加もあり、また沿道でボードを掲げて声援する人など、多くの注目と共感を集めた。

デモ後には、メッセ展示会場の入口に迫り抗議行動が闘われた。ガラス張りの入口からなかの展示物や商談する姿が見え、怒りはいっそう高まった。激しい抗議の声が叩きつけられた。

など、政府あげて後援しており、初めて長射程ミサイルの模型を展示した。こんな虐殺のための兵器展を絶対に許すことはできない！

昼に海浜幕張駅前